

山中比叡平

子ども図書館だより

2018年7・8月(創刊号)

こんにちは、「子ども図書館」です。
子ども図書館は夏休みも閉館します。

開館予定 7月・8月分

7月 1日(日)	8月 5日(日)
7月 8日(日)	8月12日(日)
7月15日(日)	8月19日(日)
7月22日(日)	8月25日(土)
7月24日(火)	8月26日(日)
7月25日(水)	8月27日(月)
7月26日(木)	8月28日(火)
7月27日(金)	8月29日(水)
7月28日(土)	8月30日(木)
7月29日(日)	8月31日(金)
7月30日(月)	
7月31日(火)	

開館時間
13時30分～
16時30分



静かに本を読むもよし、夏休みの宿題をやるもよし、ゆったりくつろぐもよし。

毎月第1日曜日はイベントの日

第1日曜には催し物をしようと計画しています。紙芝居、絵本の読み聞かせ、映画会など、どれにしようか、いま作戦会議中です。

写真は7月1日(日)の紙芝居の1コマです。8月は5日が第1日曜です。

8月5日をお楽しみに。(3時頃から始める予定)



最近寄贈された本から

こんな小さなうさぎさんを見たことがあるでしょう。オランダの作家ディックブルーナさんがデザインしたミッフィーです。ブルーナさん作のちっちゃな絵本が25冊寄贈されました。紹介します。



- ①ちいさなうさこちゃん
- ②うさこちゃんとうみ
- ③うさこちゃんとうどうぶつえん
- ④ゆきのひのうさこちゃん
- ⑤ふしぎなたまご
- ⑥きいろいことり
- ⑦さーかす
- ⑧ちいさなさかな



- ⑨こねこのねる
- ⑩ぴーんちゃんとふいーんちゃん
- ⑪ようちえん
- ⑫じのないえほん
- ⑬こいぬのくんくん
- ⑭くんくんとかじ
- ⑮わたしほんがほめるの
- ⑯もっとほんがよめるの



- ⑰うさこちゃんのたんじょうび
- ⑱うさこちゃんとゆうえんち
- ⑲うさこちゃんのにゆういん
- ⑳うさこちゃんひこうきにのる
- ㉑おひやくしょうのやん
- ㉒まる、しかく、さんかく
- ㉓しろ、あか、きいろ
- ㉔うさこちゃんがっこうへいく
- ㉕おーちゃんのおーけすとら



子ども図書館は子ども達に「本に親しみ、ほっこりできる」居場所づくりにと連合会が企画したところ、皆さまのご厚意で2000冊以上の本が寄贈され、ボランティアスタッフの協力もあって、昨年11月4日の文化祭に合わせ、デビューすることができました。厚くお礼申し上げます。

さらにこの企画を充実させたく本の寄贈をよろしくお願い申し上げます。

【追悼】かこさとしさんの のこした作品たち

今年5月2日、絵本作家かこさとし（加古里子）さんが92才で亡くなられた。



『だるまちゃんとてんぐちゃん』、『からすのパン屋さん』をはじめ500以上の作品がのこされました。作品は多くの家庭で愛されてきたからきたのでしょうか、「子ども図書館」には、かこさんの絵本が、同じものを含めて26冊寄贈されています。写真は、それらの一部です。（特設コーナーに展示）

その中から2冊紹介します。

『だるまちゃんとてんぐちゃん』

だるまちゃんはてんぐちゃんの持っているものを次々にほしくなります。てんぐのうちわ、ぼうし、一本歯の下駄、天狗の鼻……。大きなだるまどんのアドバイスを得ながら、ヤツデの葉をうちわに、お椀を帽子に、まな板を下駄に、モチで長い鼻を工夫していくだるまちゃん。幼い子どもの姿そのものでないでしょうか。天狗、だるま、うちわ、下駄など日本ならではのものが登場します。健康的な笑いに満ちた絵本です。（幼～）

かこさんには宇宙や自然、子どもたちの身のまわりのさまざまな現象をわかりやすく解き明かす絵本も数多くあります。これらには「子どもたちには、正しい知識をもち、自分で考えられるようになってほしい」というかこさとしさんの思いが込められているです。

『地球—その中をさぐる—』

四季により変化する地上の自然、地下の生物から始まり、人間が作った地上のビルや地下の下水管などから、地質学的な地層、地震、造山運動、地球の中心のことまでだんだん地下深く説明を進めていく大型絵本。よくもこれほどもりこめたと思うぐらい、ていねいに生物や岩石などもたくさん書きこんである。（小高）

こんな本はいかがですか

100万回生きたねこ 佐野洋子文・絵 講談社

これはひょっとすると大人のための絵本かもしれないが、真に大人のための絵本ならば、子供もまた楽しむことができよう。それが絵本というものの本質であるはずだ。そして『100万回生きたねこ』は、絵本の本質をとらえている。一週刊朝日書評より

ぼっぺん先生の日曜日 舟橋克彦作 筑摩書房

ぼっぺん先生は独身の生物学の先生。書斎は原稿用紙やごった返している。先生が絵本のアワダチ草の花を見ていたら、その中に入ってしまった……。ごろあわせとナンセンスのゆかいな物語。

このシリーズ9冊を寄贈していただいた。

山古志村のマリと三匹の子犬

桑原眞二著 大野一興絵 文藝春秋

涙の実話。感動の一冊。マリは闘いました。中越地震の日の朝に産んだ三匹の子どもを守るために。一この本の帯から



（8月7日公民館・民児協・学区民会議共催映画会が開かれますが、この本が原作です。）見てから読むか。読んでから見るか。お楽しみ。

ひろしまのピカ 丸木俊文・絵 小峰書店

広島に落とされた人類初の原子爆弾。たくさんの方が死に、傷ついたんだ。みいちゃんは7歳のまま大きくなれない。

本のさがし方 1

本はおなじなかまを①から⑨でわけてさがしやすくしています

- 0 総記＝そうき・ひゃっかじてん
- 1 哲学＝どうとく・しゅうきょう
- 2 歴史＝れきし・ちり・でんき
- 3 社会＝しゃかいのしくみ・むかしばなし
- 4 自然＝しぜん・てんき・いきもの
- 5 工学＝きかい・のりもの・かんきょう
- 6 産業＝いろいろなしごと
- 7 芸術＝ずこう・たいいく・おんがく
- 8 言語＝ことば
- 9 文学＝ぶんがく・ものがたり